

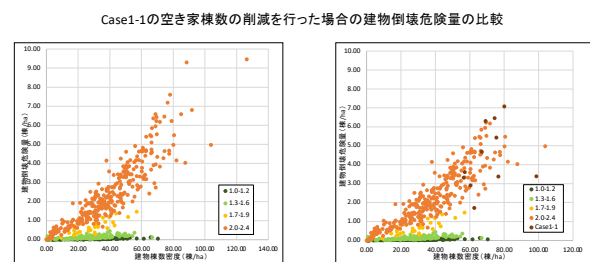
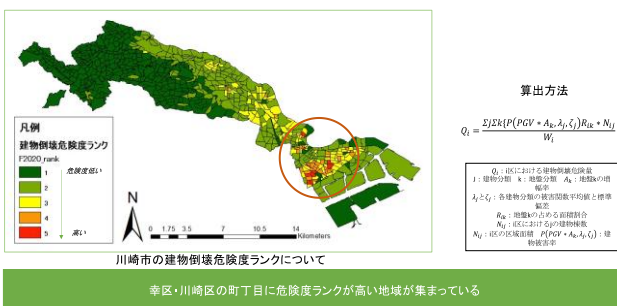
川崎市防災対策検討委員会において研究報告を行いました（2021/3/26）

テーマ：川崎市における建物倒壊リスク軽減策、人口減少、空き家、都市の脆弱性
場 所：川崎市役所（神奈川県川崎市）

2021年3月26日（金）に川崎市役所において、令和2年度第3回川崎市防災対策検討委員会が開催されました。2002年より川崎市防災会議専門委員を務めている、当研究所の村尾修教授（国際防災戦略研究分野）が、「人口減少時代を踏まえた川崎市における建物倒壊リスク軽減策の検討」について報告しました。

本調査研究は、川崎市からのデータ提供を受けて、村尾研究室に所属する松永有未氏（令和2年度工学部4年生）が卒業論文の一貫として行ったものです。川崎市が2003年度に策定した「川崎市耐震改修促進計画」に基づく耐震化の状況や、川崎市が継続的に行っている「川崎市地震被害想定調査」における地震被害想定を念頭にいれ、現在の建物倒壊危険度（川崎市全体に同じだけの地震動が発生した場合の町丁目単位の面積あたり全壊棟数を相対的に評価したもの）を明らかにしました。また2030年をピークにその後減少すると推測される川崎市の人口推移を踏まえ、建物倒壊危険性の高い地域で人口が減少していることを明らかにし、複数のシナリオに基づき、今後の空き家対策により同地域の危険性を大きく下げることがあることを報告しました。

また同委員会では、多様な連携・防災人材育成とともに、当研究所も関わっている避難所用簡易間仕切りシステム供給の協定などについても議論されました。



川崎市における建物倒壊危険度

川崎市における建物倒壊危険量軽減策の検討

文責：村尾修（国際防災戦略研究分野）